2025年8月

共同連　代表　斎藤 縣三
共同連第40回記念大会実行委員長 倉田 哲也

共同連第40回記念大会 INくまもと 開催にあたっての協賛に関するお願い

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち共同連は「障害者のあるなしに関わらず、共に働く場、共にくらす場をつくり、社会全体を共に生きる場としていく」ことを理念に掲げ、1984年に結成しました。9月13日と14日に第40回記念大会INくまもと**「今こそ働くことを問い直そう～ともに働く、ともに生きる明日へ。40年の今とこれから～」**を開催いたします。

共同連は一般雇用でもなく、福祉的就労でもない、第3の就労としての「共働」をめざし、2009年に社会的事業所を提案しました。ただ、社会的事業所への取り組みは進みませんでした。2020年には「労働者協同組合」が法制化されることになり「日本型社会的協同組合」をめざすという方向を打ち出しました。しかしながら、共同連を取り巻く環境は厳しい現状があります。「地域」や「共生社会」と喧伝されながらも、2010年代には就労継続支援A型事業を悪用した「悪しきA型」問題が発生し、2010年代後半からは雇用の分野で障害者雇用率を売買する「障害者雇用率ビジネス」が急拡大しています。どちらとも、まともな仕事ではなくA型では7万円以上、雇用率ビジネスでは10万円以上の給料が障害者に払われています。また、10月からは障害者を能力主義によって振り分ける「就労選択支援事業」が始まろうとしています。

今大会では、これまでの40年を振り返るとともに、共同連の真価が問われることになるこれからについての展望を描くものとしてまいります。

記念講演は、労働や共同体をめぐる独自の思想を構築してこられた哲学者である内山節さんにお話しをいただきます。全体会のシンポジウムでは40周年を迎えるくまもと障害者労働センターとエコネットみなまたと共同連によるシンポジウムを企画しております。

また、長年にわたって共同連が交流を深めてきた韓国障碍友権益研究所による韓国からの特別報告もございます。二日目には、「共同連の次世代を担う人たちの分科会」「就労選択支援」「社会的協同組合」「共に学ぶ」「水俣」「就労ワークショップ」の6つの分科会を行います。社会的協同組合研究社である田中夏子さんによるご報告もあります。15日にはオプションツアーとして水俣の現地見学会も用意しています。

当団体の活動は、理念に共感する団体や個人に支えられているため、経済的基盤は弱い運営が続いております。そこで、貴団体におかれましては当団体が開催する「共同連第40回記念大会INくまもと」に、協賛をお願いしたくご依頼申し上げます。協賛に際しましては、大会の資料と共同連ホームページにお名前を掲載する他、金額に応じて広告を掲載いただくことも可能です。当団体の活動にご賛同いただき、ご協賛いただけたら大変幸いに存じます。

連絡先：特定非営利活動法人　共同連　全国事務局
TEL ： 052-938-5309　FAX ： 052-938-5309　メール ： kyodoren@gmail.com